

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	GHの特性から3交代勤務をしている。全員の集まる機会が少なく、月1回の職員会議、毎朝のショートカンファレンス、申し送り簿の活用などで職員の意見が反映されるよう努力しているが十分ではない。職員の不協和音は利用者に必ず跳ね返る。介護の方法だけを討議するのではなく「介護者としての個」について自己洞察できるような機会を設ける必要がある	質の高いケアが提供できるよう、共に暮らすホーム関係者の人間関係が良好に保てる すべての職員が認知症をよく理解し、一人ひとり愛することができる 当事業所の教育指針を基盤に、自己研鑽と、資格取得に挑戦する	23年度スタッフ個別の目標と計画の提出 教育指針に則って経験年数別の研修実践と 評価 外部講師による施設内研修(人間関係論・カウンセリング・チームアプローチ)	12ヶ月
2	4	地域密着が冠になっているGHは、施設内にとどまらず、地域住民のよりどころと考えている。限られたスタッフの地域活動には限界がある。運営推進委員に多数住民に加わっていただくこと、NPO法人会員を増やす事が求められているが実際には実施できていない。高齢化、独居老人が増えるこの地域では重要な課題と位置付けている。	運営委員2名の増員 すみか応援団の結成 すみかに対する住民の期待度調査	新年度交代委員と併せて新任の選出(2か月) NPO法人会員拡大3名 アンケート調査	12ヶ月
3	23	介護経験とスタッフの個性などにより介護にそれぞれの思いもあり、センター方式を全員が駆使しているとは言えない。実施されている介護に差はないが、スタッフ全員が同じ方向でSOAPを用いて介護計画が立案できることを課題としたい	センター方式を理解しスタッフ全員が活用できる	認知症実践研修受講者がチューターとなり担当利用者の介護展開をする 認知症ケア専門資格取得しセンター方式をより一層理解を深める	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。